

	項 目	状 態
身 体	麻 痺	なし
	関 節 の 動 き	両下肢筋力低下・膝拘縮
	床 ず れ の 有 無	なし
	視 力	普通
	聴 力	普通
動 作	寝 返 り	介助が必要。言葉かけすれば協力動作はできる。膝の拘縮があり、臥床時はクッションを使用しポジショニングをしている。
	起 き 上 が り	言葉かけをすれば協力動作はできる。
	立 ち 上 が り	できない。
	座 位 保 持	背もたれがあればできる。
	立 位 保 持	できない。
	歩 行	できない。
	移 乗	・スライディングボードを使用する。 ・全身に強く力をいれてしまう。 ・つかまる所があると安心する。 ・介護職員のポロシャツやエプロンの ポケットにつかまり移乗する。
移 動	車椅子を使用し全介助	
食 事	食 事 行 為	自分で食べられるが、早く口の中に入れてしまい窒息しそうになったことがある。小さめのスプーンを使用。少しずつ盛り付けて見守り介助。粥とソフト食。
	水 分 の 状 況	水分はポタージュ状のトロミを付ける。甘いものやコーヒーが好き
	嚥 下 の 状 況	時々むせることがある。
排 泄	排 泄 行 為	本人希望時に二人介助でトイレに座っている。手すりと背もたれがあれば座位保持ができる。
	尿	尿意あり。リハビリパンツ+尿取りパッド。トイレに長く座ることを希望されている。失禁あり。
	便	便意あり。後始末は介助が必要。
整 容	洗 面 行 為	タオルを手渡せば、ふくことはできる。入浴はチェア浴槽使用し全介助。
	体 を 洗 う 行 為	手の届く部分のみ洗える。
	口 腔 ケ ア	前傾姿勢になれないため、ガーグルベースンでうがいをしている。 義歯なし。歯ブラシの使用はできるが、磨き残しがあるので仕上げが必要。
	洗 髪	全介助。
	整 髪	ブラシを渡せば、整えることができる。
	爪 切 り	介護者に切ってもらう。
衣 類 着 脱	着衣失行があり、一つ一つの動作に言葉かけが必要。腰をあげることができる。	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	日 常 の 意 志 決 定	簡単なことはできる。「まだ」「痛い」の単語は言える。
	指 示 へ の 反 応	その都度言葉かけが必要。
	記 憶 ・ 理 解	長文の理解はできない。
	意 志 の 伝 達	簡単な事はできる。

事例の概要

平成 29 年 8 月 11 日

① 基本情報

氏名	相澤 フサ (仮名)
生年月日	昭和 10 年 4 月 15 日 (82 歳)
性別	女性
要介護度	4
障害高齢者自立度	B2
認知症高齢者自立度	Ⅲa

② 生活歴

沼津市で生まれる。中学を卒業し、漁師の夫と 21 歳で結婚し 3 人の子供 (1 男 2 女) をもうける。家計を支える為、70 歳まで干物加工工場に勤め、仕事をしながら、趣味の旅行やグランドゴルフ、カラオケなどを楽しんでいた。77 歳の時に夫と死別。その頃から物忘れが目立ち始め、引きこもることが多くなり、在宅サービスを受けながら生活をしてきたが、79 歳の時に家の玄関先で転倒し、左大腿骨頸部骨折にて入院。その後、在宅生活が困難になり、三年前に特別養護老人ホームに入居した。

③ 健康状態等

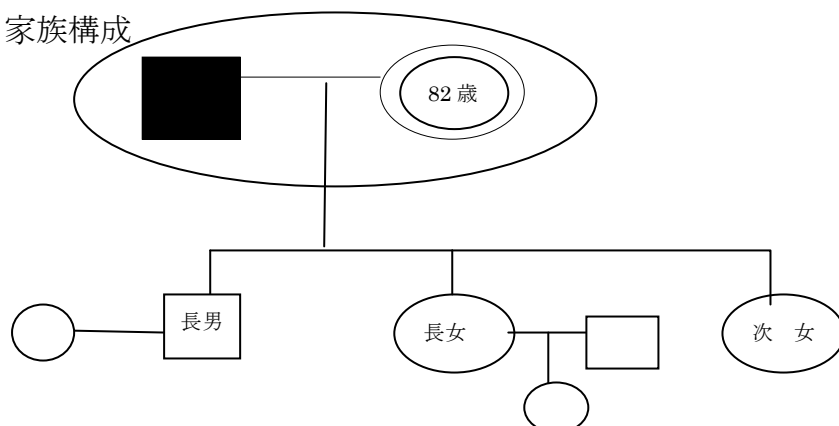
体温：36.5 度・脈拍：65・血圧：135/75 レビー小体型認知症・左大腿骨頸部骨折
服薬：パーキンソン病薬・下剤・介助で内服。

④ 精神状態：内服薬にて安定している。

⑤ 趣味・楽しみ

テレビ鑑賞・野球観戦 (巨人ファン) ひ孫の面会を楽しみにしている。
おやつプリンやヨーグルト、コーヒーが好きである。

⑥ 家族構成



⑦ 一日の過ごし方：6 時起床だが、まれに「起きたくない」と朝食を食べないこともある。昼食後は 2 時間ほど横になっている。施設行事や体操には参加・見学をしている。